

【意見・要望】

今回のウォーキング開催に対する意見として、参加者が非常に少ないと感じたことでした。事務局の説明では、参加者は110名、これに役員を加算しても約160名程度と推測されます。

川間地区の世帯数は、約3500世帯、1世帯2名とすると、約7000人となります。よって、ウォーキング参加者率は、 $160 \div 7000 = 0.023$ (2.3%)にすぎません。やはり、事業開催をする場合は、最低でも、この10倍、20～30%以上の参加率が欲しいと考えます。

参加率が低い最大の理由は、対象範囲が広すぎる為、高齢者にとって開催場所まで行くのが面倒という要因と、17の自治会の意見を集約するのは困難という側面があると考えています。他の自治会の実態はわかりませんが、当自治会の場合、このような事業(お祭り、環境美化活動、自主防災訓練等)を開催すれば、50%以上の方が参加してくれています。

川間地区自治会連合会組織においては、隣接する自治会を4つのブロックに区分していますので、各ブロックで行事開催内容の意見交換を行い、各ブロックで事業開催すれば、参加者率も向上するのではないのでしょうか？

川間地区には自治会連合会の他、防犯組合、廃棄物減量等推進員等の組織がありますが、現状の運営は、市との窓口業務は組織役員、実際の活動は、各ブロックまたは自治会に委ねられています。

具体的には、防犯組合が要請する防犯パトロールは、ブロックまたは自治会単位で実施、廃棄物減量等推進員による不法投棄防止パトロールは、3ブロックで、各々行っていましたが、これでも範囲が広いこともあり、今年度から、自治会単位でも構わないという事になっています。

提案ですが、行事への参加率向上を狙い、来年度以降の開催は、川間地区全体で開催するのではなく、近隣自治会で構成されている4ブロックが、各々、会員の意見をヒタリングし、各々で、事業開催するというやり方でどうでしょうか？

事前に、川間地区の運動会(体育祭)の開催日を決めておき、4ブロックとも、当日にあわせ開催することにより、参加者率向上のみならず、市への交付金申請も可能と考えます。

川間台自治会長 矢野 博